

科目名	芸術（音楽）				
担当講師名	工藤 和子	所属・役職	雅声会 代表	資格・免許	
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 16 時間/30 時間	開講年次	1 学年前期
講義の概要	「看護に音楽が必要か」音楽療法の意味を知り、個々の患者の状態を把握して可能な限り患者の快復に役立つような音楽活動をするにはどうしたらよいか。また、自己を解放できる音楽は何か。				
到達目標	音楽の基礎（簡単な楽典、歌唱の基礎等）を学び、看護に生かせる音楽を工夫する力を養う				
講義回数	講義内容				
1 2 3 4 5～7	<p>音楽の基礎（音符、リズム等、読譜能力）</p> <p>正しい発声と歌唱（学院歌、施設等で取り上げられる童謡、唱歌）</p> <p>トーンチャイムの基本と演奏</p> <p>「音」を応用した遊び</p> <p>・手づくり楽器 他</p> <p>1～4の講義内容をもとに、入院中の患者（子ども～老人）を対象とした音楽的働きかけを系統だてて工夫し、セッションを試行する。</p>				
教科書等	教科書「希望のうた－安らぎと幸せを求めて－」 野ばら社				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	看護師として、音楽を履修する意味を念頭に置くこと				
特記事項	出席を重視する。積極的に参加し、自分なりの工夫をして楽しむこと				